

SANSHIN GROUP

Monthly Report on the ESG

Nov.2025

INDEX

1. サンシングループ 経営理念
2. サンシングループ 経営ビジョン
3. 「徳のある商人」を育成するために
4. TOP MESSAGE
5. グループ社員による今月のつぶやき
6. ESG Report (品質)
7. ESG Report (環境)
8. ESG Report (地域貢献活動)

我々はお客様を愛し愛される
徳のある商人を目指し
世界の文化文明の発展に貢献する

● 経営ビジョン

お客様満足度の向上 / 利益ある成長・発展

● 代表挨拶

弊社は、さまざまなメーカーの電子部品を取り扱い、商社機能とメーカー機能を兼ね備える技術商社です。お客様のニーズに応じた最適な技術シーズを提供し、多様な提案を通じて、事業成功のお手伝いをさせて頂きます。

「徳のある商人」であることを企業理念に掲げ、創業から60周年を迎えます。これからも変わらぬ価値を提供し続け、絶えず成長と発展を探求してまいります。引き続き、皆様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 石井 宏宗

～「徳のある商人」を育成するために～



自身の経営貢献

- ・経営理念から個人目標まで体系的に展開し、自身の企業貢献を明確化
- ・自発的にチャレンジしやすい環境

経営参画

- ・若手メンバーで中期経営計画作成プロジェクトを行い、新規事業や社会貢献をアイデア&ドリーム
- ・週次/月次ミーティングで経営状況や方針の情報共有

キャリア

- ・年齢・性別関係なく役職に抜擢され、キャリアを構築できる仕組み
- ・EIGYO育成プログラムによる一人一人の細やかな成長支援

知識・資格・学び

- ・社内大学「サンシン大学」：経営・法務・営業・技術・品質管理・WEBマーケ・生成AI・語学・健康などの講座をリアル/オンラインで開講（就業時間内、会社負担）
- ・資格取得支援（簿記・TOEIC・ビジネス法・QC検定・MBA/MOTなど）
- ・工場見学、企業見学、研修会、YAMINABE会



働く環境

- ・社員の働く環境の整備
 - ①育児休業中の給与補助
 - ②育児短時間勤務中の給与維持
 - ③こども手当
 - ④介護にあたる社員への柔軟なサポート
 - ⑤在宅勤務・テレワーク対応
 - ⑥扶養家族のいる社員への人事評価加点
 - ⑦勤務間インターバル制度
 - ⑧時間単位の有給休暇取得制度
 - ⑨メンタルヘルスの一環としてオンライン相談フォーム設置（匿名可）

- ・「健康優良企業」「健康経営優良法人」等、外部認証の取得
- ・副業兼業可能

ネットワーク

- ・新入社員へのメンターによるサポート
- ・入社後研修で東京・関西などの社員とのフラットな業務交流
- ・社内交流会、懇親会の開催

TOP MESSAGE

今年は全国的にクマによる被害が増加し、地域社会で不安が高まっています。その背景には、気候変動による生態系の変化や森林環境の悪化、里山管理の停滞など、複数の要因が複雑に絡み合っています。特に今年は、ドングリの凶作が広範囲で起きており、エサを求めて人里に出没するケースが増えています。野生動物が人の生活圏に近付きやすくなっている現状は、社会全体で環境と向き合う必要性を示しています。

企業にもまた、環境負荷を抑えた持続可能な取り組みが求められています。当社では、熱対策や小型軽量化のソリューションを通じて省電力化に貢献し、CO₂排出削減にも寄与しています。当社グループの持つ技術力で、持続可能な未来づくりに貢献すべく、これからもイノベーションを進めてまいります。

サンシン電気株式会社
執行役員 川口 あすみ

グループ社員による今月のつぶやき

SANSHIN East

今年は「秋晴れが少ない」のだそうです。例年よりも寒気の南下が遅いことがその理由です。11月に入っても、まだ日本の南海上には夏の名残の暖かい空気があるようで、ここにも気候変動の影響が見て取れます。春と秋が無くなる、と言われていますが、秋晴れなどという言葉も死語になっていくのでしょうか。 (Y.Y.)

SANSHIN Hong Kong

中国全土での買い物では、WeChat PayやAlipayを活用したキャッシュレス決済が標準です。これらは利便性が高く、安全性に優れ、さらには環境負荷の低減にも寄与する画期的な仕組みです。タクシー利用時から露店での野菜購入まで、日常のあらゆるシーンでこれらを駆使しており、私の生活のほぼ100%をカバーしています。支払いが瞬時に完了する速さと手軽さは格別で、街中でスリや盗難の被害も激減しました。また、国家レベルでは硬貨・紙幣の製造コストを毎年数十億元規模で削減できています（例：100元紙幣の印刷コストはわずか0.38～0.4元）。私自身、数年にわたり現金に手を付けていません。一方、米国や日本をはじめとする先進国諸国では、こうしたキャッシュレス社会の実現がなぜこれほど遅れているのでしょうか。 (M.X.)

CSI

普段は特に季節を感じにくいセブですが、クリスマスが近づいてくると変化を感じます。フィリピンのクリスマスは、世界で最も長いと言われて、9月から始まります。フィリピンの方々は「-ber months」と呼ばれる9月から12月の4ヶ月間を、クリスマスシーズンとして祝い、電飾やいろいろなデコレーションが始まります。 (K.S.)

SANSHIN West

最近「11月なのに25°Cを超えた」というニュースを耳にすることが増えました。九州では秋の終わりに夏日が観測されることが珍しくなく、2023年には福岡で29.3°Cを記録しました。気象庁のデータによるところした秋の真夏日は2020年頃から毎年観測されています。原因是地球温暖化に加え、南からの暖かい空気や高気圧の張り出しが重なっている為でいつまでも夏が粘っている状態です。日本の四季はどこへ？衣替えいつする？など、私たちの日常における違和感＝気候変化の実感と言えます。自然のリズムが変わる今、過去の常識に捕らわれずエコを意識したウォームビズを実践するなど私たちも生活習慣の見直しを本格化する時期に来ているのかもしれません。 (N.K.)

SHINKOWA

11月になり朝晩の冷え込みを感じるようになりましたが、日中は20°C超える日もあり外出する服装も難しい時期です、体調管理に努めましょう。また、インフルエンザが流行り出しているので予防接種を受け、普段から手洗い・うがい・マスクの着用をしっかり行いましょう。 (M.N.)

SC2

【予防原則】NatureNeuroScienceで、日用品に多く含まれる「第4級アンモニウム塩」が脳神経細胞の発達に毒性を持つという発表がありました。胎児や乳幼児の発達への影響、高齢者の認知症予防などを考えると、これを避けた方が良いことがわかります。「どこでも売っているから安心」ではないことを知り、予防原則で選んでいくのがいいですね。 (M.I.)

ESG Report (品質)

サンシングループの品質方針

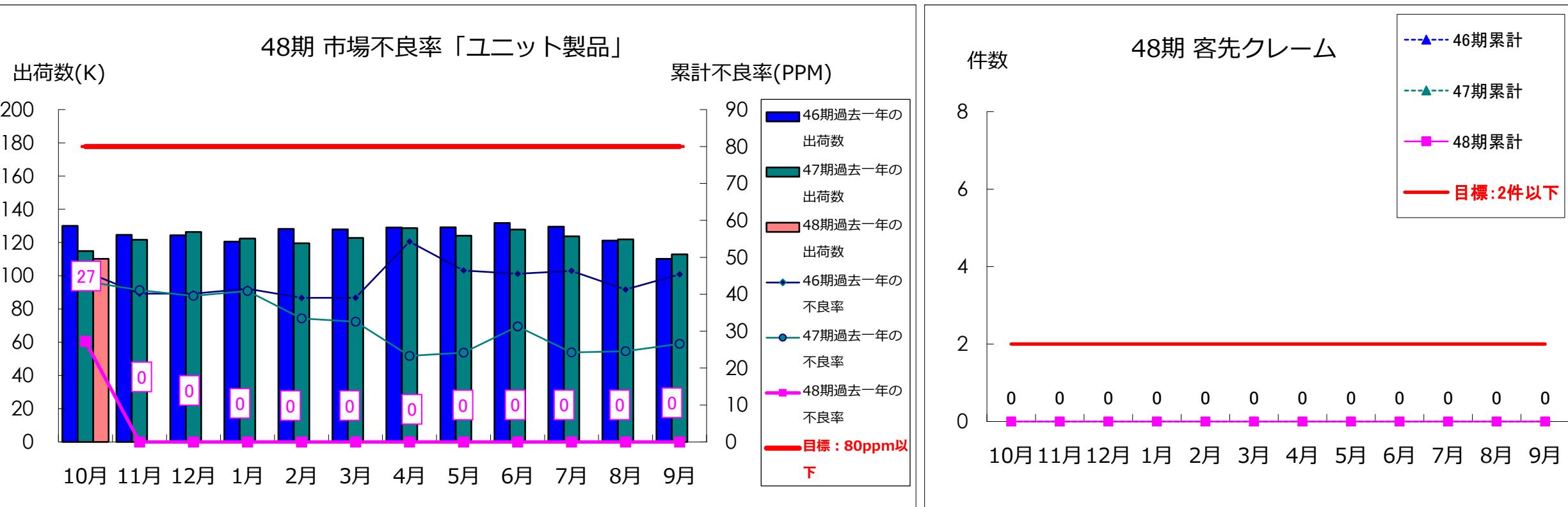
サンシングループは、品質マネジメント・システムの効率的な運用により、お客様の満足にかなう企業活動を行い、社会へ貢献していくために、以下の品質方針を策定しています。

1. 企業活動において、いかなる場合も品質マネジメント・システムを遵守し、お客様に信頼される品質の提供に努めて参ります。
2. 企業活動に係る法規制およびその他の要求事項に関して、コンプライアンスの遵守を通して品質の向上に努めて参ります。
3. 品質マネジメント・システムは、定期的な内部監査及びマネジメント・レビューを行い、実態業務に沿った具体的な是正と改善を図って参ります。

品質状況

納入品不良率（目標：80ppm）
48期の累計不良率(解析依頼含む)： 27ppm

客先クレーム（目標：2件以下）： 0 件

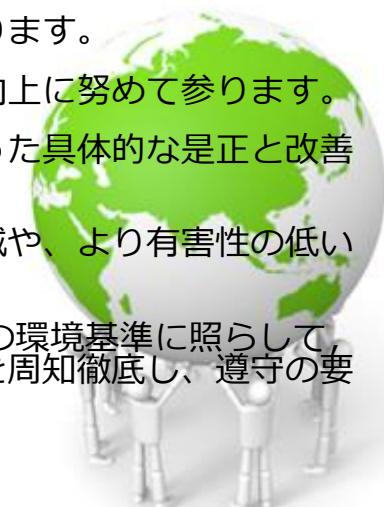


ESG Report (環境)

サンシングループの環境方針

サンシングループは、環境の保全と向上に関する企業活動を重要なCSRと認識し、継続企業の責務として、将来に渡り環境の保全と向上に貢献していくために、以下の環境方針を策定しています。

1. 企業活動において、いかなる場合も環境マネジメント・マニュアルを遵守し、お客様に信頼される継続企業として、環境保全と向上に努めて参ります。
2. 「紙・ごみ・電気」の低減を定量的に徹底管理し、地球環境の汚染予防をはかつて参ります。
3. 独自性のあるイノベーション活動を通して、地球環境の汚染防止をはかつて参ります。
4. 「安全・安心・快適」な職場環境を追求し、すべての社員が健康的に働くことのできる環境を実現して参ります。
5. 企業活動に係る法規制およびその他の要求事項に関して、コンプライアンスの遵守を通して環境の保全と向上に努めて参ります。
6. 環境マネジメント・システムは、定期的な内部監査およびマネジメント・レビューを行い、実態業務に沿った具体的な是正と改善をはかつて参ります。
7. 環境放出化学物質の管理環境中に放出されると害を及ぼすと特定された化学物質については、使用量の削減や、より有害性の低い物質への代替、漏洩の防止などにつとめてまいります。
8. 製品に含まれる有害物質を特定し、「RoHS」等の法規制および「JAMPガイドライン」などの業界と顧客の環境基準に照らして、非含有およびそのための管理体制を遵守します。また、サプライチェーン上流の取引先にもこれらの基準を周知徹底し、遵守の要請を行ってまいります。



TOPICS

□ ブラジル・ベレンで開催されたCOP30、その合意内容を読み解く

■ COP30とは？ 今年の開催地と位置づけ

COP30（第30回 United Nations Framework Convention on Climate Change = UNFCCC 締約国会議）は、2025年11月10日～21日にブラジルのアマゾン地域、ベレン（パラー州）で開催されました。

この会議は、Paris Agreement（パリ協定）から10年目にあたる節目の年で、「実行（implementation）」に焦点を当てることがホスト国ブラジルの方向性として掲げられていました。

会議では、気候変動対策（温室効果ガスの削減・適応・気候資金）、森林・土地利用、化石燃料フェーズアウト、気候財政、損失と被害（loss & damage）など多岐にわたるテーマが議題となりました。

しかし、今回の合意文書は気候変動の大きな要因である石油や天然ガス・石炭に明示的な言及がありませんでした。こうした化石燃料からの移行に関する具体的な計画も示されなかったこともあり、一部の国が不満を示しています。

合意文書は渋々ながらも受け入れられた形で、多くの国々は気候変動に対してもっと対策を講じる必要があると主張しましたが、完全でない合意でも全くないよりはましだと認めています。

合意文書は、産業革命前と比べて世界全体の気温の上昇を1.5度に抑える上で必要な取り組みと、各国が実際に実施または約束している行動との間に広がるギャップに対応するものです。議長国は1.5度に抑える上で必要な行動の「実行を加速」する自発的な新イニシアチブを主導します。約80カ国と欧州連合（EU）は、石油・ガス・石炭から脱却しクリーンな経済へ移行するための指針として、より具体的なロードマップを強く求めましたが、中東の主要な産油国・産ガス国やロシアの反対を受けました。

TOPICS

■主な決定・成果

□ 適応（Adaptation）と気候資金

- ・会議で採択された「グローバル “Mutirão” 決議」（“collective efforts”を意味するポルトガル語）において、途上国の気候変動影響に対応するため、適応資金を2035年までに3倍に拡大することが明記されました。
- ・気候資金に関して、途上国支援、公的資金／民間資金の動員、そして「新たな集合的定量目標（New Collective Quantified Goal : NCQG）」の実施枠組みに関する議論が継続されることとなりました。

□ 化石燃料・森林・移行（Mitigation & Just Transition）

- ・多くの国（80ヶ国以上）が化石燃料からの移行ロードマップ（phasing out）への支持を表明しましたが、正式な合意文書に「化石燃料を段階的に廃止する」という明確な言葉を盛り込むことには至りませんでした。
- ・森林破壊・土地利用変化（特にアマゾン地域など）を巡って、ブラジルがホスト国として「森林と土地利用」を主要テーマに掲げたものの、十分な義務付けのある措置には至らず、議論・ロードマップ形式での継続が決まりました。

□ 制度改革・プロセス効率化

- ・COPプロセス自体の効率化（議題数や代表団規模の見直しなど）に関する議論も行われましたが、実質的な改革決定には至らず「引き続き議論を継続する」レベルで終わりました。

□ その他テーマ（性別・農業・食料システム等）

- ・性別行動計画（Gender Action Plan）の更新や、農業・食料システムの気候対応も議題に上ったものの、資金や実行メカニズムの面では十分な前進とは言えないという分析があります。

TOPICS

■ 評価・限界

- ・会議の成果については「一定の前進があるものの、気候危機の緊急性に対しては不十分」という評価が多く見られます。
- ・特に化石燃料の段階的廃止に関する強い言葉が文書化されなかった点、資金の動員・責任の明確化が曖昧だった点が批判されています。
- ・一方で「適応資金3倍」という明確な目標の提示は、途上国支援・適応強化にとって重要なマイルストーンであるという評価もあります。

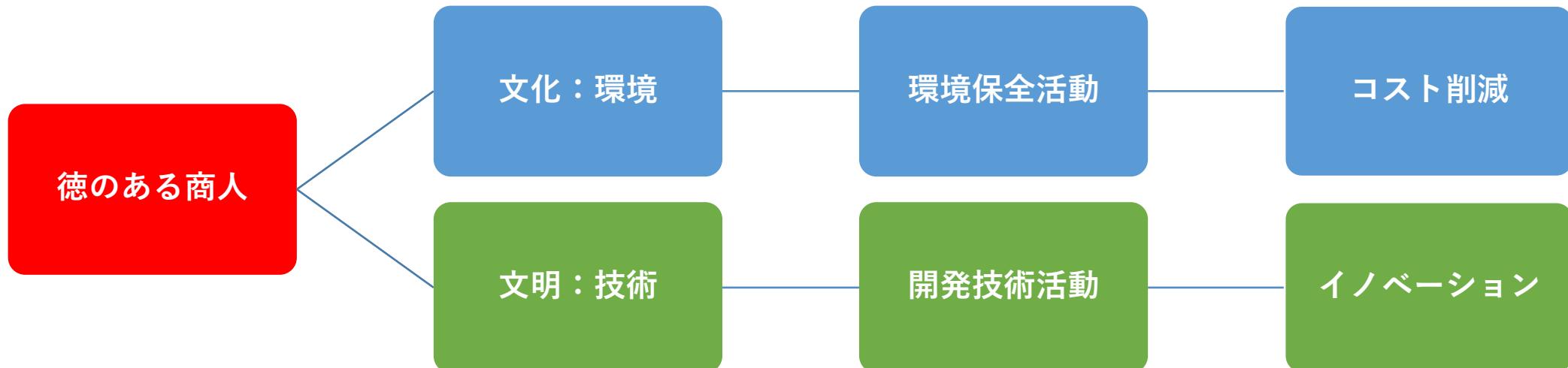
■ 今後の焦点・次のステップ

- ・次回会議：COP31（2026年、トルコ開催予定）に向けて、今回決定されたロードマップや作業プログラムを如何に実施・運用していくかが鍵となります。
- ・化石燃料移行・森林保護・資金動員・損失・被害（loss & damage）の実効性ある仕組みづくりが引き続き焦点です。
- ・各国が提出する国別行動計画（NDC：Nationally Determined Contributions）や検証・報告・透明性（MRV制度）の強化が重要です。
- ・資金流動、特に民間資金や市場・金融機関を巻き込んだ資金動員メカニズムの進展が求められています。

サンシングループ環境経営への歩み

1. 環境経営の基本マインド

* サンシングループ経営理念
私たちは お客様を愛し お客様から愛される
徳のある商人を目指す：世界の文化・文明発展のために



2. 環境への取り組み

2002年から現在までの経緯



2. 環境への取り組み

～2002年

環境対応はコスト増の要因であり取り組む必要はないという認識.

2002年～

専門商社から海外商社、メーカーへと展開するなかで**環境MSを整備.**

2004年～

グループ企業体の発足に伴い**経営理念**を創設。**CSRを能動的に展開.**

2014年～

健康経営を標ぼう、以後、東京都認定.

2020年～

CSV経営を宣言、**ESGとSDGsを重視.**

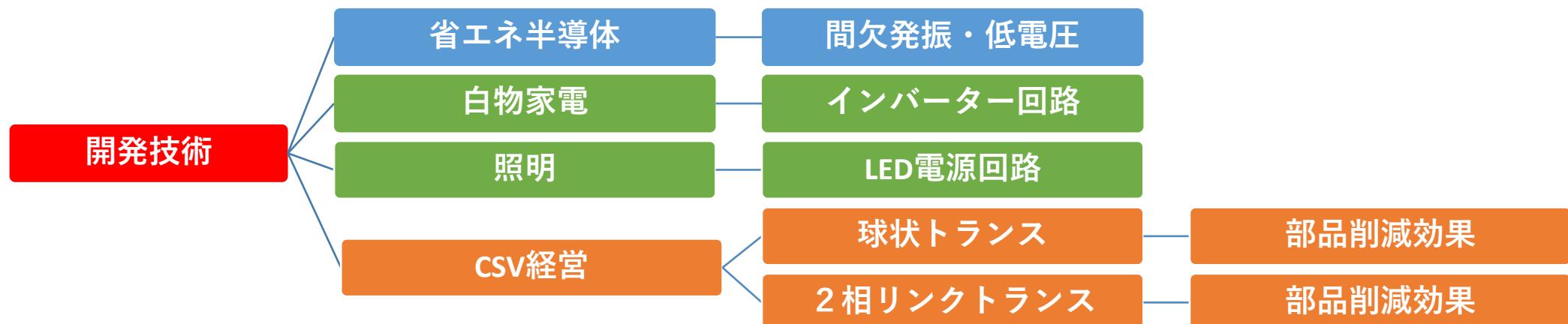
3. コスト削減実績

- 紙/ゴミ/電気、三種の神器、徹底削減の継続
- テレワークによる電気/交通費削減
- 環境MS監査費用は増加（リアルコスト）
- 環境活動時間は増加（バーチャルコスト）
- コスト削減費用と増加費用の差額をマネジメント
⇒グループで年間約4,000万円※のコスト削減を実現！

※2004年度対比

4. イノベーション事例

・環境保全の開発技術ビジネス



4. イノベーション事例

省エネ半導体

専門商社として拡販

白物家電

白物家電向け**インバーター回路**の設計

照明

LED照明用の回路設計および電源製造

CSV経営

環境保全を鑑みた電子部品を**自主開発**

環境とイノベーションを結び付けた技術開発

CSV経営 モノ×コト = 価値創造

5. Scopeの対応

- Scope 1：該当なし
- Scope 2：電気排出量のみ (J/C/P合計)
『ESGレポート』掲載
- Scope 3：該当事項のみ集計
 - 4：輸送配達
 - 5：廃棄物
 - 6：出張交通費（旅費除く）
 - 7：従業員交通費

6. まとめ

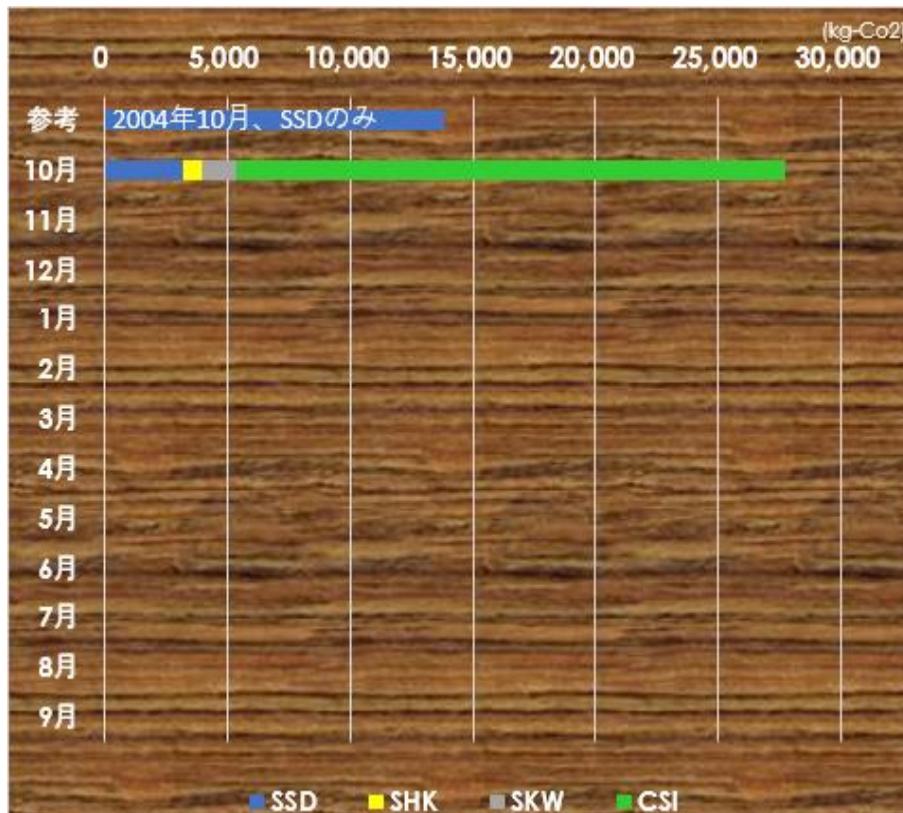
- ・ほとんどのSME他社が取り組んでいない項目だからこそ「進取の精神」で取り組みます！
- ・事業活動の中で可能な小さいことからコツコツ継続します！
- ・環境保全活動はコスト削減とイノベーションのきっかけになります！
- ・サンシングループはこれからもサステイナブル企業としてサステイナブルな社会のために環境保全活動に取り組みます！

SSGサプライチェーン排出量

サンシングループではサプライチェーン排出量前年比▲5%に取組んでいます

- Scope 1：該当なし

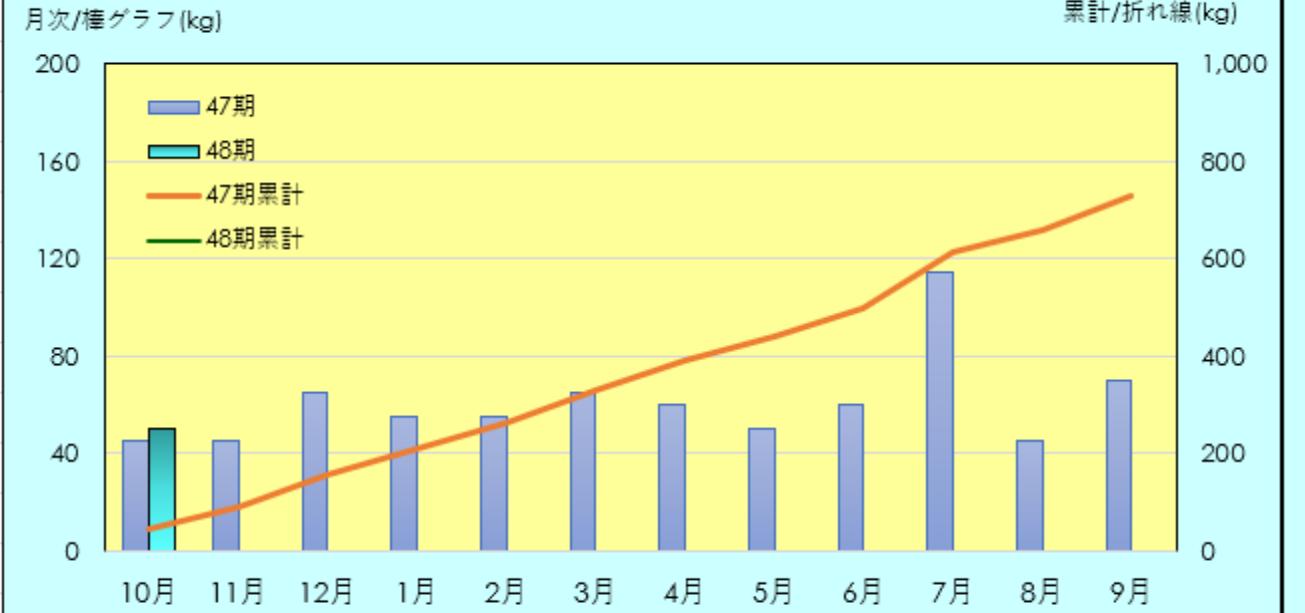
- Scope 2 (他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出)



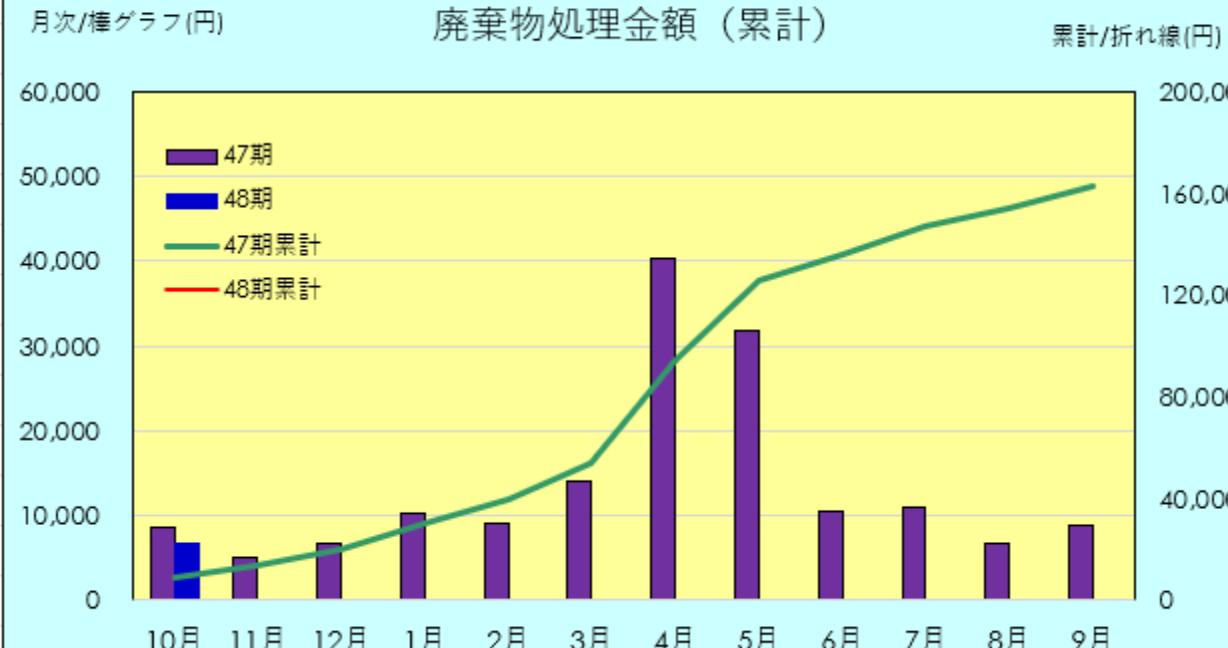
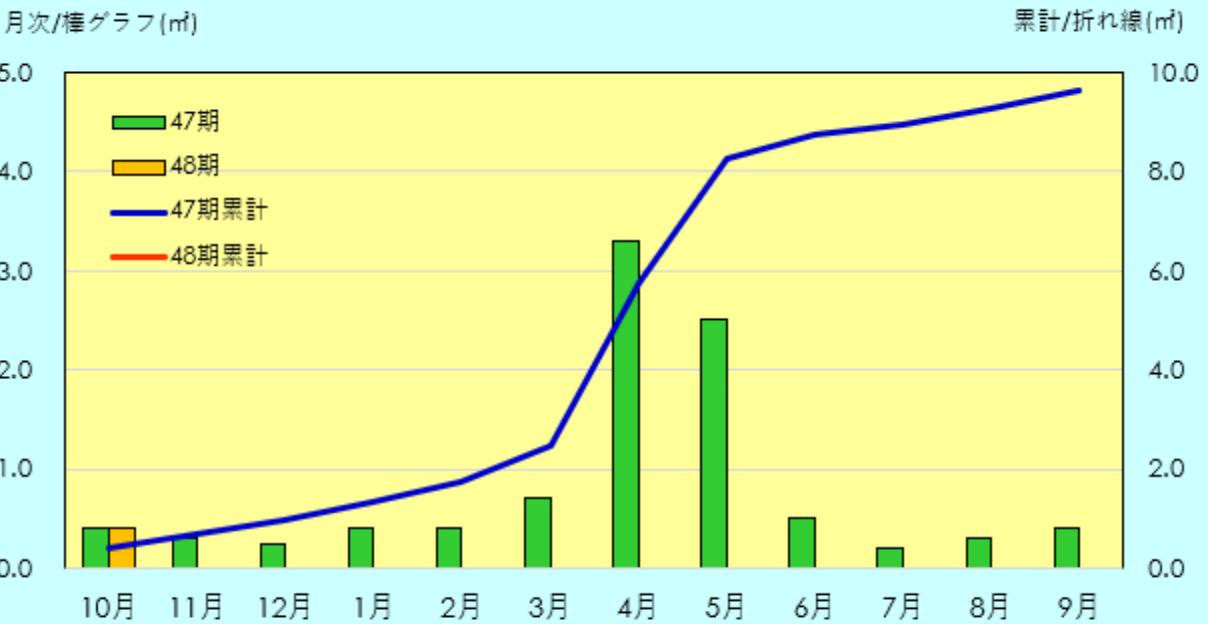
- Scope 3 (事業者の活動に関連する他社の排出)

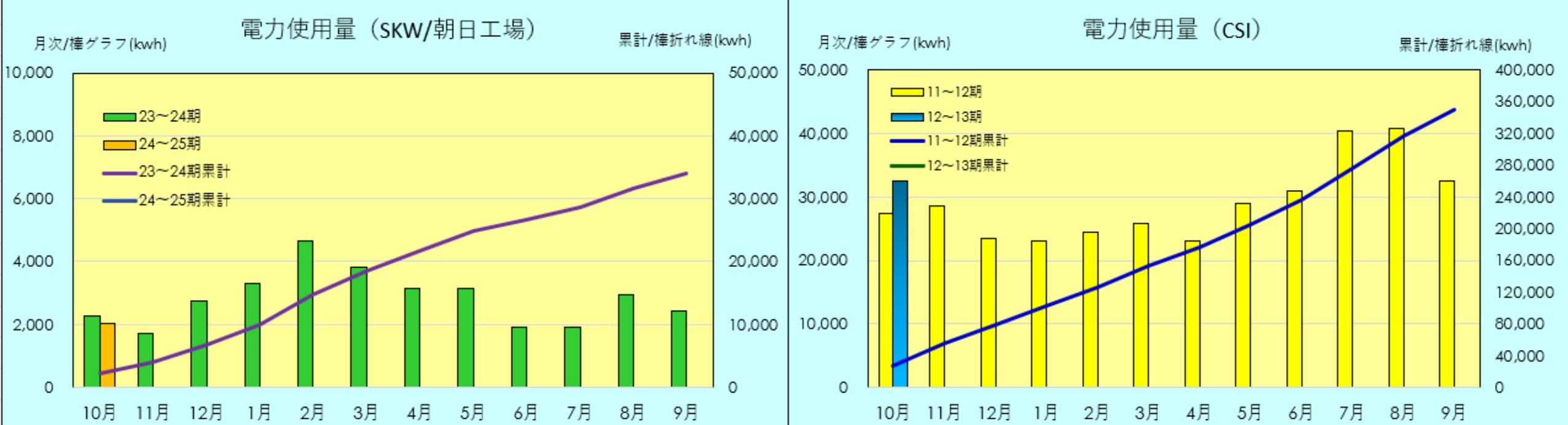
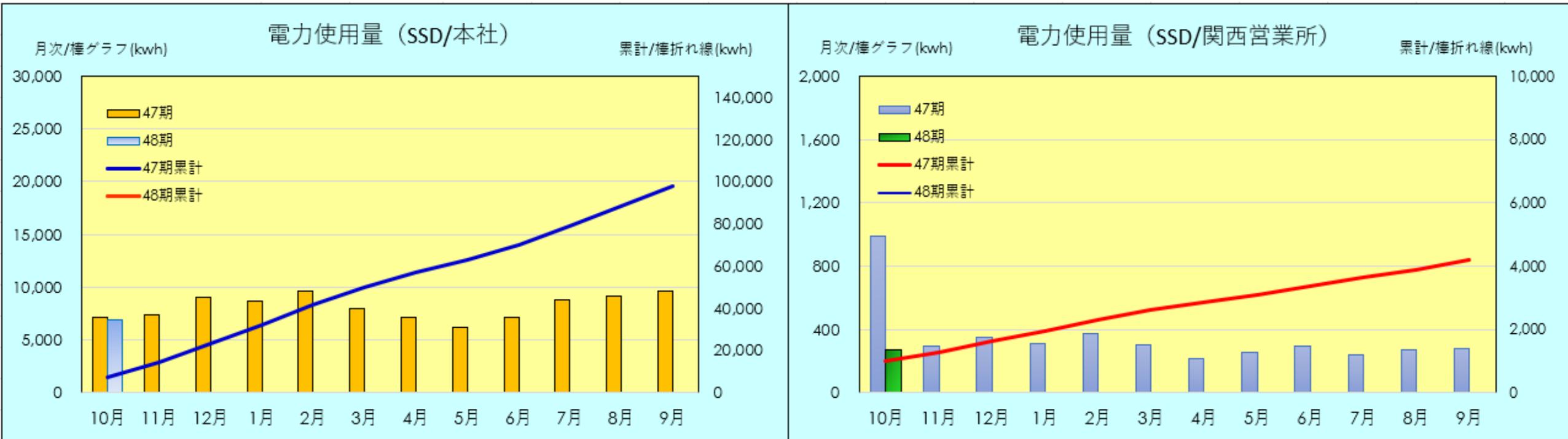


一般廃棄物 (SSD/本社)



一般産業廃棄物 (SSD/本社)





ESG Report (地域貢献とワーク・ライフ・バランス)

今月のTOPICS

●健康リスク予防啓発 定期健診の受診促進について

サンシングループでは、従業員一人ひとりが安心して働く環境を整えることを重視し、健康リスクの早期発見・予防を目的とした定期健康診断の受診促進に積極的に取り組んでいます。その結果、対象者の健康診断受診率は100%となっています！

受診率の向上に向け、受診スケジュール管理の徹底に加え、受診案内の早期配布やリマインドの強化を実施しました。また、健診後のフォローアップとして、再検査や経過観察を必要とする従業員への声掛けや、生活習慣改善プログラムの紹介など、健康維持・改善のためのサポートも充実させています。

サンシングループは、引き続き健康経営を推進し、健康管理体制の強化と、働きがいのある職場環境づくりを進めてまいります。



地域貢献活動

- 地域雇用の促進
- 地域清掃の実施（10月参加人数：延べ4名）
- ハンディキャップのある方々の自立を目指すお弁当宅配センターから会議用お弁当を購入
- インターンシップ実習生の受け入れ（日本、中国、マレーシア）
- 近隣の小学校へ新聞を寄贈
- 企業メセナとして日本のワインや日本酒を購入
- 飼い主のプロを育てる「ドッグライフアカデミー」を創設

